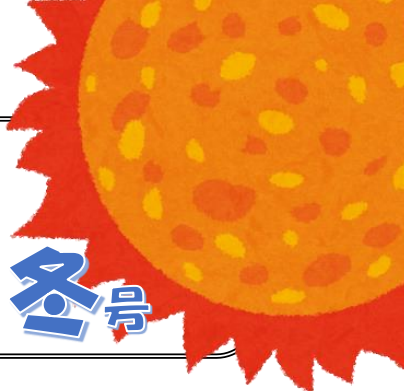


博物館通信

2018年1月発行 Vol.66

冬号



2018.01.31

皆既月食を見よう！

2018年は、2回の皆既月食（1月31日と7月28日）や火星の大接近など、注目の現象がいっぱいあります。

そのなかで、1月31日の皆既月食は、日本では2015年4月以来約3年ぶりとなり、とても条件良く見ることができます。今回の月食のポイントや観察のしかたを紹介するので、ぜひ見てみましょう。

月食とは：

太陽・地球・月が一直線に並んだ満月のとき、月が地球のかげのなかに入って、月が欠けて見える現象のこと。

月食のなかでも、かげのなかに月全体がすっぽり入ってしまうのが皆既月食です。このとき、月はまっ暗になって見えなくなってしまいます！ と思いがちですが、赤銅色と呼ばれるぼんやりと赤黒く色ついた満月になります。



ポイント1：見やすい時間帯

今回の月食は、1月31日（水）の午後8時48分頃から始まります。この頃から、満月が地球のかげのなかに入って少しずつ欠けていきます。

その後、午後9時51分から午後11時8分まで皆既月食となり、月食が終わるのは日付の変わった2月1日（木）の午前0時11分頃です。

ポイント2：皆既月食が長く続く

午後9時51分から午後11時8分までの約1時間17分、皆既月食が続きます。この間、皆既月食ならではの赤銅色の満月を楽しむことができます。

ポイント3：日本全国で見える

今回は、日本全国で月食のはじめから終わりまで全部を見ることができます。次にはじめから終わりまで見ることができる皆既月食は、2022年11月8日です。

1月31日の皆既月食

- 部分月食のはじまり
午後8時48分
- 皆既月食のはじまり
午後9時51分
- 皆既月食のおわり
午後11時8分
- 部分月食のおわり
午前0時11分

2018年1月31日の皆既月食のようす（望遠鏡で見たときのイメージ図）



はじめるころ
(午後8時50分ころ)



約30分後



皆既月食のはじめ
(約1時間後)



約2時間30分後



おわりのころ
(約3時間後)

ポイント4：今年二番目に大きな満月

今年1月2日の満月は、地球と月の距離が近くなって、今年一番大きく見えるということで注目されました。今回は、二番目に大きな満月になることから、普段より大きな満月が欠けていくこととなります。



2014年10月の皆既月食



ポイント5：ブルームーン

今年の1月は、満月が2回あります。

ひと月に2回満月がある場合、その2回目の満月を“ブルームーン”（注意：月が青く見えるわけではありません）と呼ぶことがあります。今回は、ブルームーンに皆既月食が起こる、少し珍しいものとなります。

観察のしかた

月食は、天体望遠鏡などがなくても、十分に楽しめます。満月が欠けていくようすや色を観察してみましょう。さらに望遠鏡や双眼鏡を使うと、目で見るだけではわからない変化を調べることができます。

また、月食は月の満ち欠けとは違い、欠けぎわがぼんやりと見えるので注目してみましょう。

おしらせ

岡山天文博物館では、今回の皆既月食にあわせて特別観望会を行います。月食のしくみや観察のしかたをもっと知りたい、みんなと一緒に観察したいという方は、ぜひご参加ください。

日時：1月31日（水）

午後8時00分～10時00分

場所：ふれあい交流館「サンパレア」

（浅口市寄島町 16091-23）

※ 詳しくは、岡山天文博物館のホームページをご覧ください。



昨年9月から改修工事を行っている岡山天文博物館が、いよいよ3月リニューアルオープン！



画像は、リニューアルのイメージ図



いま、工事が着々とすすんで、博物館の南側に新しくガラス張りのホールがあらわれてきたよ。さらに屋上や玄関前には観望デッキがつくれるんだって。

今度来た時には、そこから京都大学岡山天文台や瀬戸内海のながめを楽しんでみてね！

岡山天文博物館



※休館中のため、岡山天文博物館の電話番号（0865-44-2465）は、浅口市教育委員会事務局文化振興課へ転送されます。

